

リウマチ対策の全体像(案)

第3回 リウマチ等対策委員会

平成30年6月8日

資料2

無症状
期間

発症

初回症状
発現期

寛解や再燃等を繰り返し徐々に身体機能が悪化
合併症の発生など

リウマチの進行

医療の提供等

診療連携
体制

診療の
標準化・
均てん化

年代別

人材育成

情報提供
相談体制

研究
開発等
の推進

早期受診

紹介

「関節リウマチ診療ガイドライン
JCR2014に基づく一般医向け
診療ガイドライン」

「関節リウマチ診療ガイドライン
2014」治療アルゴリズム

一般医療機関

身体機能低下予防にむけた
早期からの運動指導・理学療法

担当医間の連携

逆紹介

関節リウマチ専門医療機関等

メディカルスタッフや他科専門医等との連携
最適な治療法の選択、準備

関節リウマチ診療ガイドラインJCR2014等の普及、生物学的製剤の適正使用

一般医療機関と専門医療機関の連携強化・関連する診療科間での連携強化

小児期・移行期・若年成人・高齢者等、各年代に応じた診療の充実

専門的なメディカルスタッフの育成

早期発見・早期受診の啓発

患者・家族からの相談体制への支援(相談員の養成など)

一般疾病情報、適切な治療や薬剤に関する情報、医療機関やサービスの選択などの情報発信

疫学研究

免疫学的な機序解明を基にした予防的医療

ライフステージ別の診療の現状と対策